

## 友情の日 (El Día de la Amistad)



パラグアイでは、7月30日が「友情の日」です。

職場や学校でプレゼントの交換を行うこの習慣は、パラグアイに限らずスペイン語圏の他の国々でも形を変えて行われています。

友情の日を祝う1か月前ぐらいに、職場の同僚、及び友達の名前を紙に書いて箱に入れます。各自が紙をひき、書いてある人の「見えない友達」(AMIGO INVISIBLE)になります。そして、内緒でプレゼントを用意し、当日その人に渡します。プレゼントの代わりにクリスマスカードや手紙でもかまいません。

お互いに誰からもらうかわからないので、とても楽しみです。ただし、渡す相手はわかっているのですから、その人の趣向にあったものを選ぶことができ、また、カードや手紙だと伝えたいことや関心のあることが書けるので、名のつた時に自然と話が弾むところがミソのようです。誰からのプレゼントか、当てっこするのも楽しいものです。

一般のプレゼントと違うところは、プレゼントの相手を自分で選ぶのではなく、成り行き任せというところです。普段あまり接する機会のない人とも、これをチャンスに会話をしてみましょう、ということです。このような習慣が多いと感じるのは、多文化社会ならではの知恵かと思われます。広くコミュニケーションを図り、お互いを良く知り、人間関係を円滑にする手段の1つとして取り入れられているのでしょう。

人間関係の難しさは、洋の東西を問わず、世界共通のテーマのようです。ちなみに.....

友情とは、理解し、許すことができることである。

友情とは、寛大で、他者(特に必要としている人)を助け、支えることである。

友情とは、それぞれの場所で、よりやさしい社会作りに参加することである。

友情とは、日々、新たな出会いから、新たなことを学ぶことである。

という言葉もあります。

## 世界の食卓から

### 水餃子

ユ・コウブンさん リ・ショウガクさん



中国の北の地方では、主食として食われています。最近では市販の皮を使うことが多いようですが、それぞれの家庭の味があるとのこと。

今回は、4月に来日したばかりで、現在日本語を勉強中の中国黒龍江省出身のユ・コウブンさん、リ・ショウガクさんに作り方を教えていただきました。(分量等は目安なので、あくまでもご参考までに.....)

### 水餃子 20~ 30個

#### \* 皮

##### 材料

・小麦粉 1袋(500g) ・ぬるま湯 適量

##### 作り方

ボールに粉を入れ、ぬるま湯をそそぎ、箸で混ぜる。水分を加減しながら10分くらい手でこねる。

パン生地くらいの固さになったら、ラップなどをして10~15分くらいねかせ。

打ち粉をしながらドーナツ状に伸ばす。

2~3cmくらいずつ、包丁で切る。

手のひらでつぶし、丸くする。

麺棒を使い、薄く、均等に回しながら伸ばしていく。

#### \* 中身

##### 材料

・ムキエビ(あらみじん) 200g  
 ・ネギ 1/4本  
 ・ニラ 1束  
 ・豚ひき肉 300g  
 ・卵 1個

みじんぎ  
 微塵切りにして、  
 塩で味付け、全卵  
 を加えよく混ぜる。

##### 作り方

中身を包む。

沸騰したお湯を入れてゆでる。

さし水を2回くらいしたら出来上がり。

食べる時に、お好みで、  
 ボン酢、ラー油をつけて  
 どうぞ。

